



校長だより

呉市立阿賀小学校
安宗 誠



特別な配慮, できていますか?

先日、発達障害支援に携わっておられる方（発達障害支援レインボー教室代表津森慎二氏）のお話を聴く機会がありました。そのいくつかをご紹介します。

発達障害かも・・・

集中力がない・落ち着きがない・いろいろな音が聞こえすぎて落ち着かない・こだわりが強い・絶えず体を動かしている・勝ち負けにこだわる・相手の気持ちが分からない・自分勝手な行動が多い・・・

保護者や周りから・・・自分でも受け入れられない・・・?

受け入れるのは勇気がいる。そんなはずはないと思いたい。そのまま様子を見ていたら何とかなると信じたい。しかし、その結果、支援が遅れる。

怠けている、困った人等の誤解を受けやすく、自分はだめな人間だと思おう等、自己肯定感が下がったり、引きこもり・不登校・暴力行為・体調不良等になりやすかったりする。

では、どのように接するのか?

できたことをほめる（できないことを叱らない）・視覚的な情報を提示して説明する・短文で順を追って具体的に説明する・人混み、大きな音、光等の刺激を与えないように・善悪やルールをはっきり教える・自分でできることは自分でやらせる・温かく見守る

叱らなければいけない場面では・・・

- 子どもの目をしっかり見て叱る
- その場で叱る
- 叱る理由をはっきり伝えてから叱る
- 気持ちを肯定してから叱る